



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 コード番号 3421 URL https://www.inaba-ss.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	28,624	10.8	2,287	72.0	2,502	67.0	1,734	90.0
2020年7月期第3四半期	25,830	1.1	1,329	△6.7	1,498	△12.0	913	△13.8

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 1,844百万円 (117.8%) 2020年7月期第3四半期 847百万円 (△20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	103.97	—
2020年7月期第3四半期	51.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第3四半期	55,868	39,130	70.0
2020年7月期	54,188	39,240	72.4

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 39,130百万円 2020年7月期 39,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年7月期	—	13.00	—		
2021年7月期（予想）				19.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2021年7月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当13円00銭 特別配当6円00銭

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	7.0	2,460	30.1	2,720	28.9	1,760	29.2	105.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	17,922,429株	2020年7月期	17,922,429株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	1,458,536株	2020年7月期	358,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	16,681,475株	2020年7月期3Q	17,563,903株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
売上高	25,830	28,624	10.8
営業利益	1,329	2,287	72.0
経常利益	1,498	2,502	67.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	913	1,734	90.0

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、政府による経済対策の効果もあり、一部持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言の再発出の影響などから、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの経営環境について概観いたしますと、鋼製物置市場では、持家・分譲一戸建住宅の新設着工戸数は落ち込みましたが、暮らしの中での収納ニーズや新型コロナウイルス感染症の対策ニーズなどが高まったことから、鋼製物置の需要は好調に推移しました。オフィス家具市場では、在宅勤務の普及、企業業績の悪化に伴う投資抑制や経費削減により、オフィスの移転・リニューアル需要は弱含みで推移しましたが、企業のテレワーク推進に伴うIT環境の整備や「GIGAスクール構想」など、新型コロナウイルス感染症の対策による新たな需要が増加しました。

また、当社グループの主要材料である鋼材市況は、経済活動の停滞に対応したメーカの減産や在庫調整の動きに対し、その後の自動車生産の回復などに伴い鋼材需給は急速に引き締まり、上昇傾向となりました。当第3四半期連結累計期間における鋼材の仕入価格は、引き続き高止まりで推移しています。

このような経営環境のなか、当社グループは、お客さまからの要望に応えるべく、安定的な製品供給に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は28,624百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は2,287百万円（前年同期比72.0%増）、経常利益2,502百万円（前年同期比67.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,734百万円（前年同期比90.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	17,305	19,386	2,081	1,962	2,559	596
オフィス家具	8,526	9,238	712	128	472	343
合計	25,831	28,625	2,793	2,090	3,031	940

(鋼製物置事業)

鋼製物置事業につきましては、暮らしの中での収納ニーズや新型コロナウイルス感染症の対策ニーズなど、旺盛な需要に支えられ、物置、ガレージ及び倉庫の販売が好調に推移したことから、前年同期に比べ、売上高、利益ともに増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ2,081百万円増加して19,386百万円（前年同期比12.0%増）となりました。セグメント利益は、増収や広告宣伝費等の経費削減により前年同期に比べ596百万円増加して2,559百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

(オフィス家具事業)

オフィス家具事業につきましては、「GIGAスクール構想」によるタブレットPC充電保管庫の販売が好調であったことから、前年同期に比べ、売上高、利益ともに増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ712百万円増加して9,238百万円（前年同期比8.4%増）となりました。セグメント利益は、増収や粗利益率の改善により前年同期に比べ343百万円増加して472百万円（前年同期比267.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末 (百万円)	当第3四半期連結会計期間末 (百万円)	増減 (百万円)
流動資産	27,761	27,953	192
固定資産	26,426	27,914	1,488
資産合計	54,188	55,868	1,680
流動負債	12,126	13,944	1,818
固定負債	2,820	2,793	△27
負債合計	14,947	16,737	1,790
純資産	39,240	39,130	△110

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりです。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加して27,953百万円となりました。主な変動要因は、自己株式の取得、配当支払、納税支払、有価証券の取得等に伴う現金及び預金の減少1,765百万円、売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加572百万円、電子記録債権の増加308百万円、及び金銭信託取得に伴う有価証券の増加999百万円です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,488百万円増加して27,914百万円となりました。主な変動要因は、静岡営業所・新静岡配送センターの新築・移転に伴う建物及び構築物の増加210百万円、犬山工場・鋼製物置ラインの再構築に伴う機械装置及び運搬具の増加1,795百万円、及び有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の減少814百万円です。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ1,680百万円増加して55,868百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,818百万円増加して13,944百万円となりました。主な変動要因は、仕入増加に伴う支払手形及び買掛金の増加644百万円、電子記録債務の増加393百万円、未払法人税等の増加306百万円、及び賞与引当金の増加330百万円です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少して2,793百万円となりました。主な変動要因は、役員株式給付引当金の増加19百万円及び退職給付に係る負債の減少51百万円です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加して16,737百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ110百万円減少して39,130百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加1,734百万円、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少445百万円、及び自己株式の取得による自己株式（控除項目）の増加1,509百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の連結業績予想は、2021年3月15日に公表しました業績予想から変更はありません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,687,450	12,922,429
受取手形及び売掛金	6,300,645	6,873,104
電子記録債権	2,157,109	2,465,438
有価証券	1,500,110	2,500,000
商品及び製品	2,137,566	2,035,719
仕掛品	291,521	419,095
原材料及び貯蔵品	374,001	406,097
その他	323,725	338,198
貸倒引当金	△10,548	△6,428
流動資産合計	27,761,582	27,953,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,010,810	7,221,592
機械装置及び運搬具(純額)	2,969,311	4,764,760
土地	11,525,117	11,426,641
その他(純額)	1,311,847	658,918
有形固定資産合計	22,817,086	24,071,913
無形固定資産	296,044	301,245
投資その他の資産		
その他	3,313,368	3,541,724
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	3,313,368	3,541,724
固定資産合計	26,426,500	27,914,882
資産合計	54,188,083	55,868,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,303,950	4,948,371
電子記録債務	4,043,386	4,437,024
未払法人税等	304,578	610,803
賞与引当金	315,246	645,716
その他	3,159,358	3,302,739
流動負債合計	12,126,520	13,944,655
固定負債		
役員退職慰労引当金	10,608	15,855
役員株式給付引当金	103,687	123,523
退職給付に係る負債	1,282,917	1,231,416
その他	1,423,550	1,422,356
固定負債合計	2,820,764	2,793,151
負債合計	14,947,285	16,737,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	1,016,874	1,016,874
利益剰余金	37,281,232	38,569,885
自己株式	△334,892	△1,844,092
株主資本合計	39,095,262	38,874,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,312	214,536
退職給付に係る調整累計額	34,222	41,478
その他の包括利益累計額合計	145,534	256,015
純資産合計	39,240,797	39,130,731
負債純資産合計	54,188,083	55,868,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	25,830,908	28,624,957
売上原価	18,514,739	20,442,335
売上総利益	7,316,169	8,182,621
販売費及び一般管理費	5,986,325	5,894,679
営業利益	1,329,843	2,287,941
営業外収益		
受取利息	4,123	4,251
受取配当金	4,225	3,045
作業くず売却益	60,619	103,357
電力販売収益	75,170	76,119
雑収入	54,802	57,301
営業外収益合計	198,940	244,075
営業外費用		
支払利息	160	313
電力販売費用	28,904	26,021
雑損失	765	3,170
営業外費用合計	29,830	29,505
経常利益	1,498,953	2,502,512
特別利益		
固定資産売却益	2,338	40,087
その他	—	1,113
特別利益合計	2,338	41,201
特別損失		
固定資産除却損	50,256	24,794
減損損失	33,213	24,580
その他	—	3,070
特別損失合計	83,469	52,445
税金等調整前四半期純利益	1,417,822	2,491,268
法人税、住民税及び事業税	592,104	879,011
法人税等調整額	△87,326	△122,105
法人税等合計	504,777	756,905
四半期純利益	913,044	1,734,362
親会社株主に帰属する四半期純利益	913,044	1,734,362

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	913,044	1,734,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,518	103,224
退職給付に係る調整額	16,583	7,256
その他の包括利益合計	△65,935	110,480
四半期包括利益	847,109	1,844,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847,109	1,844,843

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年9月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施しました。

① 取得した株式の種類	当社普通株式
② 取得した株式の総数	1,100,000株
③ 取得価額の総額	1,509,200,000円
④ 取得日	2020年9月24日
⑤ 取得の方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,509百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,844百万円となっています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,305,256	8,525,651	25,830,908	—	25,830,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	359	359	△359	—
計	17,305,256	8,526,011	25,831,268	△359	25,830,908
セグメント利益	1,962,429	128,467	2,090,897	△761,054	1,329,843

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△359千円は、セグメント間取引消去です。
- (2) セグメント利益の調整額△761,054千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼製物置」セグメント及び「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「鋼製物置」セグメント5,841千円及び「オフィス家具」セグメント27,372千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,386,924	9,238,033	28,624,957	—	28,624,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	77	77	△77	—
計	19,386,924	9,238,111	28,625,035	△77	28,624,957
セグメント利益	2,559,355	472,258	3,031,613	△743,672	2,287,941

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△77千円は、セグメント間取引消去です。
- (2) セグメント利益の調整額△743,672千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては24,580千円です。